

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 【教養教育科目】

現代的な知を共有し、豊かな想像力、構想力を持ち、変化の激しい時代においても多様な人々と連帯する力で社会を明るくする現代女性を養成するため、以下の「基礎教養・コア」「キャリア・コア」「ICTスキル・コア」「英語力養成・コア」に区分し配置する。

CP1-1:「基礎教養・コア」は、他者の価値観や視点を理解し、協働する力を養成するために「初年次ゼミナールⅠ・Ⅱ」「論理的思考と文章表現」「プレゼンテーション技法」「数学入門」の5科目を必修科目とする。加えて、豊かな教養を涵養するために語学系および社会・人文・自然科学系科目を配置し、5科目以上の選択必修科目とする。

CP1-2:「キャリア・コア」は、将来にわたるキャリアプランニング能力を養成するために、「武蔵のキャリア教育」「キャリアデザイン」を必修科目とする。

CP1-3:「ICTスキル・コア」は、Society5.0社会に不可欠な情報活用能力を養成するために「情報基礎」「データサイエンス・AI入門」「データサイエンス基礎」「データエンジニアリング基礎」を必修科目とする。

CP1-4:「英語力養成・コア」は、グローバル展開するビジネスの場で欠かせない英語力を養成するために、「総合英語Ⅰ・Ⅱ」「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とする。

### 【専門教育科目】

ビジネス全般に関する基礎知識を体系的に身につけるために「経営学系」「マーケティング・心理学系」「経済学系」「会計・法学系」「情報・デザイン系」の各分野の基礎的な知識を正しく理解し、希望する職種と関わりの深い分野を中心に深い知識を習得するため、以下の「専門基礎科目」「専門基幹科目」「専門発展科目」の区分を配置する。

また、ビジネスに関する課題解決型学習を通じて、自律的な判断をもって協働を促進するリーダーシップを身につけることを目的とし、以下の「専門実践科目」の区分を配置する。

CP2-1:「専門基礎科目」は、ビジネス全般に関する基礎知識を身につけるための入門科目を配置する。専門教育5系統の「経営学基礎」「マーケティング基礎」「経済学基礎」「会

計学基礎」「法学基礎」「デザイン基礎」を必修科目とする。

C P 2 - 2 : 「専門基幹科目」は、「専門基礎科目」で得た知識とのつながりを意識しながら、専門性を発展させていく基盤となる専門教育 5 系統の「経営学系」「マーケティング・心理学系」「経済学系」「会計・法学系」「情報デザイン系」の各分野の基幹的な科目を配置し、必修科目または 3 科目以上の選択必修科目とする。

C P 2 - 3 : 「専門実践科目」は、ビジネスに関する課題解決型学習を通じて、学んだ内容を実際に想定した場面で活用し、リーダーシップを身につける科目を配置する。「リーダーシップ開発演習 I」「リーダーシップ開発演習 II」「リーダーシップ応用演習」「プレゼミナール」を必修科目とする。

C P 2 - 4 : 「専門発展科目」は、「経営学」「マーケティング・心理学」「経済学」「会計・法学」「情報・デザイン」の分野を中心に学びを深めていくための専門科目を配置する。

目指す将来像に応じて、適切な履修計画に基づき、当該分野と他の分野の科目を横断的に履修することで、希望する職種に沿った深い知識と応用力を身につける。また、3 年次、4 年次には専門ゼミナールを配置し、学修した知識・技能等を活かしながら、適切な指導のもと自ら設定したテーマを研究しフィールドワークやグループディスカッション等を通じて協働を促進する能力を身につける。

さらに 4 年間の集大成として研究成果を論文にまとめ、成果発表を行う「卒業論文」を 4 年次専門ゼミナールに含め、上記 2 科目を必修科目とする。